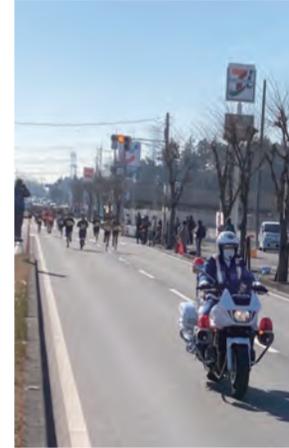




第112号

# 牛久市議会だより



3年ぶりの開催!  
令和5年  
元気にスタート  
飛躍の年に!!



光の装い  
まちを彩る



## 主な内容

### 令和4年第3回臨時会 (10月24日)

- ▶ 令和4年度一般会計補正予算を可決
  - ・ 非課税世帯に対する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金
  - ・ 介護施設、民間保育園、運送事業者等に対する物価高騰対策補助金
- ▶ スズメバチの駆除に係わる予算の復活を求める決議を可決

### 令和4年第4回定例会 (11月30日~12月16日)

- ▶ 令和4年度一般会計補正予算を可決
  - ・ 住宅用LED照明等買替費用助成 2億2千万円 (1世帯2万円分のクーポン券)
- ▶ 牛久市ひたち野リフレプラザの設置及び管理に関する条例を可決
- ▶ 稲敷・龍ヶ崎地方3組合の統合に係る議案を継続審査
- ▶ 刈谷から市道23号線への坂道設置に係る請願を採択

#### 特集

令和4年度議会報告会

委員会視察研修報告 …………… 2~3ページ

市政に対する一般質問 …………… 4~9ページ

令和4年第3回臨時会より …………… 9ページ

常任委員会審査報告 …………… 10~11ページ

議案の審議結果 …………… 12ページ



# 特集 令和4年度 議会報告会

令和4年度の議会報告会は動画で配信しています。  
市民の皆さまにお知らせしたいことをテーマに各常任委員会ごとに動画を作成しました。ぜひご覧ください。

議長挨拶はこちらからご覧いただけます。検索サイトから

令和4年度牛久市議会報告会 検索



### 総務企画常任委員会

**防災無線が聞こえにくい**

総務省によるアナログ放送の停止と防災無線の老朽化により、令和7年に牛久市の防災無線はデジタル化します。デジタル化に要する予算やメリットなどを報告しています。

**ふるさと納税って何？**

納税の仕組み、牛久市における「ふるさと納税」の収入や活用状況について、また、税収減になるなどの課題について報告しています。

#防災無線デジタル化 #ふるさと納税

しかし、自治体によっては課題があります。例えば牛久市民が牛久市以外の自治体に寄附をすると、確定申告の所得税を計算するとき2,000円を超える分が寄附控除の対象となり、その結果、牛久市の税収が減ってしまうことにつながります。

↑ 動画はこちらから

### 教育文化常任委員会

**最近よく耳にするけれど、「休日部活動の地域移行」って何？**

**牛久市の中学校部活動の今後は？**

牛久市の公立中学校部活動の現状や課題・対応策、部活動指導員の配置状況や休日部活動の地域移行などについて報告しています。牛久市の公立中学校の一部部活動について、休日部活動の地域移行のモデル校となっています。

#休日部活動地域移行 #部活動指導員

3. 今後の在り方  
(1) 部活動指導員の配置  
①令和3年度より一部配置  
下根中 男子・女子バスケットボール部 牛久二中 柔道部 おくの義務教育学校 テニス部

②部活動指導員の職務と要件  
(職務)  
牛久市部活動の運営方針及び中学校の教育計画に基づき、学校長の監督の下、  
・実技指導  
・安全及び障害予防に関する知識及び技能の指導  
・大会、練習試合その他の学校内外での活動の引率  
・部活動の管理運営(会計管理を含む)  
・保護者への連絡  
・部活動中の生徒指導に係る対応  
・事故が発生した場合の現場対応 など

↑ 動画はこちらから

### 保健福祉常任委員会

**ヤングケアラーへの相談体制はどうなっているの？**

**医療的ケアが必要な子どもや家族への支援は？**

**加齢性難聴者への補聴器購入補助は？**

**コロナ感染症の自宅療養者支援やワクチン接種の状況は？**

**予防接種の実施状況は？**

保健福祉常任委員会は健康づくり、介護・国民健康保険、社会福祉等の議案等について審議しています。所管事項の中からお伝えしたい内容について報告しています。

#ヤングケアラー #補聴器購入補助 #医療的ケア  
#予防接種 #新型コロナウイルス感染症

2022年自宅療養者への食糧支援(市独自) 申請回数

支援を受けたきっかけ

ホームページ 29% 友人 14% 保健所 14% 警察 14% 家族 14% 不明 14%

↑ 動画はこちらから

### 環境建設常任委員会

**電気料金の値上げ、地球温暖化対策、電気に代わるエネルギーとは？**

**グリーンエネルギーを推進する取り組みとして、補助金が出るものは？**

昨夏に続き、この冬も節電が呼びかけられています。電気に代わるエネルギーである「グリーンエネルギー」の牛久市での取り組みや、今後の課題などを報告しています。

#グリーンエネルギー #太陽光パネルの条例化  
#ペレットストーブ #バイオディーゼル燃料

グリーンエネルギーを推進するために— 取り組んでいます

- エネファームを導入した家庭に4万円の補助金
- 太陽光発電蓄電システムを導入した家庭に5万円の補助金
- 食品ロスに取り組むフードバンクへの寄附
- 環境に配慮した店「エコ・ショップ」の活用

↑ 動画はこちらから

## みなさまのご意見をもっとお聴きするために

## アンケートにご協力をお願いします!

市議会は、市民の皆さまからのご要望・ご意見などを市政に反映させる役割があり、さまざまな年齢の方から多くのご意見をお聴きする必要があります。

コロナ禍のような状況においても、皆さまからのご意見をお聴きする機会が持てるように、議会報告会の在り方を変えていきたいと考えています。

皆さまに市議会のことをもっと知っていただき、さらに身近に感じていただけるような議会を目指すため、どのような議会報告会であれば参加しやすく、多くのご意見をお聴きすることができるのか、議会報告会の開催方法について、ぜひご意見をお聞かせください!

### アンケートの回答方法

検索サイトより、[牛久市議会 議会報告会](#)で検索し、牛久市議会ホームページ内より回答をしていただくか、または、下のQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと直接アンケートにご回答いただけます。  
(令和5年2月末まで)



### アンケートの内容

今後の議会報告会のあり方について検討しています。以下から参加してみたいものがあれば選択してください。(複数回答可)

1. Zoomなどを利用したオンラインでの 議会報告会
2. 議員との意見交換会
3. 行政区や学校などを対象とした出前講座
4. 議場見学
5. ない
6. その他(自由回答)

## 議会だよりが変わります!

牛久市議会だよりは平成8年1月に創刊されました。市議会活動の経過と内容を報告し、ご理解をいただくとともに皆さまのご要望ご意見を市議会に反映させ、開かれた議会を目指すための一つの手段として、27年間発行してきました。創刊から現在に至るまで、「タブロイド判」というサイズで発行してきましたが、次号より「A4判」にサイズ変更をいたします。今までも、議会活動の報告の充実のためページ数の増加を行ったり、表紙写真を市内高校の写真部に依頼したりすることで、親しみやすい紙面づくりを行ってきました。今回のサイズ変更にあたって、読みやすさや手に取りやすさなど、何度も検討を重ねてきました。次号からも「見やすく分かりやすい議会だより」を皆さまにお届けできるよう一層努力してまいります。



タブロイド判からA4判へ

## 委員会視察報告

### 交通体系整備促進調査特別委員会

自治体主体のコミュニティバスの運営や、路線バスを利用した貨客混載事業などを視察し、交通弱者対策としての公共交通網の拡充を目指す今後の牛久市にとって参考となる研修となりました。

#### 西宮市

西宮市交通政策課の職員より、自治会代表を運営主体とした「コミュニティバスぐるっと生瀬」の説明を受けました。委員からは、活動内容の詳細や今後の課題などについて質問がありました。



#### 三田市

三田市の交通まちづくり課の職員のほか、神姫バス(株)やJA兵庫六甲の職員から「路線バスによる貨客混載事業」についての説明を受けました。委員からは、事業を行うことに至った経緯や、現状と課題について質問がありました。



### 環境建設常任委員会市内事業所視察

環境建設常任委員会では、令和3年度に「太陽光発電等の再生エネルギーに係る条例等の整備について」を調査事項として閉会中継続調査を行いました。この中で、牛久市内の事業所における、太陽光パネル処理専用プラントの導入・稼働開始についての話題が出されたことから、委員会として現地視察を行ったものです。(視察先：環境通信輸送株式会社 牛久リサイクルセンター)

近年、太陽光発電等の導入量が増えていますが、太陽光パネルの耐用年数は20年から30年といわれており、今後、太陽光パネルの廃棄が増えることが予想されることから、適切なリサイクル体制の構築が社会的にも急務となっています。このような中、太陽光パネルの適正な処理のためのリサイクルプラントの視察は、今後の参考になるものとなりました。



処理プラントの近くで、実際に処理されるようすを見学しました。



リサイクルのために分別したのを見ながら説明を受けました。

### 市政に対する一般質問

QRコードを読み取って一般質問の動画をご覧ください。



## 稲敷エリア広域バス路線の一部変更は

石原 幸雄 議員



(答弁) 現状では当該バス路線の一部変更は難しいと考える

**質問** 平成29年よりJRひたち野うしく駅から東部地域を経由し、稲敷市江戸崎地区とを結ぶ稲敷エリア広域バスが平日で5往復10便、土日で4往復8便が運行されている。

一方、東部地域はかつて号の走行していない公共交通空白地域であるが、通院や買い物等でJR牛久駅方面へ外出する地域住民の割合がそれなりに高いことから、当該バス路線の一部について、始発と終点をJR牛久駅に変更すべきと考えるがどうか。

**答弁** (経営企画部次長) 稲敷エリア広域バス事業は本市と稲敷市との共同事業であり、本市の意向だけでは現在のバス路線の変更が不可能であることに加えて、稲敷市に改めて打診をしたところ、現在の路線を変更する考えはないことから、現状では当該バス路線の一部変更は難しいと考える。



稲敷エリア広域バス

### 防犯ステーションの設置は

**質問** みどり野・東みどり野・さくら台等の人口密集地区には防犯対策上、交番等が不可欠と考えるが、交番の設置はハードルが高いことから、警察官OB等が駐在する防犯ステーションを設置すべきと考えるがどうか。

**答弁** (市民部長) 防犯ステーションは取手市や龍ヶ崎市において設置されているが、当該地域住民の安全安心は防犯連絡員等のパトロール等の実施により確保したいと考えていることから、現状では防犯ステーションの設置の考えはない。



## 带状疱疹予防のためのワクチンの公費助成を

秋山 泉 議員



(答弁) 調査研究し、検討を継続していく

**質問** 带状疱疹予防ワクチンの接種費用は、2回接種で4万円以上と高額となる。公費助成を導入することで未接種の場合の医療費も抑えられるので実施をしたらどうか。

**答弁** (保健福祉部次長) 带状疱疹は、集団感染の可能性は低く、早期発見で有効な治療薬がある。

**質問** 令和4年10月時点で带状疱疹予防ワクチンの公費助成導入の状況は、47自治体となっている。本市においても地方創生臨時交付金を活用したらどうか。

**答弁** 地方創生臨時交付金を活用しての実施をしなかったのは、交付金は今回限りのものであること、予防接種は継続して補助が必要であること、効果的対象年齢について十分な情報が得られていないことなどがある。



### 国民皆歯科健診

**質問** 「歯科検診を通じて口内環境を良好に保てば、全身の健康維持につながる」という因果関係が諸研究によって明らかになっており、歯の健康は全身の健康と深く関係がある。よって、「国民皆歯科健診」に公費助成を導入してはどうか。

**答弁** (保健福祉部次長) 国及び市の補助で30歳より10年に一度、歯周病検診の助成を実施し、一定の効果があると考えている。「国民皆歯科健診」については、現状の検診体制の評価と併せ、拡大することの目的や費用対効果を十分に検討していく。



## スズメバチ駆除に対し市の対応は

守屋 常雄 議員



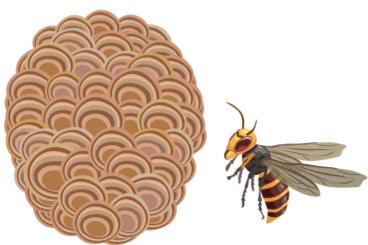
(答弁) 令和5年度は駆除費用の一部を助成できるよう予算要求を行った

**質問** 害獣や危険生物の種別について質問する。当市では特に害獣はハクビシンが挙げられ、スズメバチなどは衛生害虫に挙げられる。それらが及ぼす危険性は、スズメバチは人の生活環境まで入り込み、軒下などに巣を作り、これを刺激すると刺される危険性がある。またアナフィラキシーショックで重篤な症状を引き起こすので注意が必要である。被害を受けている市民に対しての行政の責任の範疇をどうとらえているか。

**答弁** (環境経済部長) 特にスズメバチは危険であることから、令和3年度まで市の予算で駆除を業者に委託していたが、市内や近隣に業者が増えてきたこともあり、令和4年度からは市が管理する道路や公共施設等は担当課で対応し、自宅や企業等の敷地は所有者から各業者に依頼していただくことで各業者が受注できるよう公平性を担保した。しかし、市民の安全を守るためにどうするかを協議した結果、令和5年度はスズメバチ駆除費用の一部を助成できるよう予算要求を行った。また、緊急の駆除が必要な場合には市で対応していく。

**質問** ある行政区では早く駆除しないと住民に被害が及ぶと判断し、行政区の費用で駆除している。当然市はその費用への補助は考えていないと思うが、行政区の立場からすれば考えてほしいと思う。その点はいかがか。

**答弁** 令和5年度の予算は令和5年度に駆除を行った費用の一部を助成するものであり、令和4年度の駆除費用は助成できない。



市政に対する一般質問

QRコードを読み取って一般質問の動画をご覧ください。



牛久シャトー、日本遺産認定の今後は大丈夫か

柳井 哲也 議員



(答弁) 日本遺産認定取消しの心配はないものと認識している

質問 地域の祭りや伝統芸能が危機に瀕している。収集し、展示公開することによってなぜそれがあつたのか、その理由や先人たちの知恵を知ることができると。国登録有形文化財である旧女化分校には既に民俗資料等が保管されており、ここを有効活用できないか。

伝承文化の危機と 女化青年研修所の活用

質問 日本遺産取消しの可能性はないのか。日本遺産については、令和2年度から3年間の重点支援期間であり、令和5年度から3年間の自走期間、令和8年度に総括評価、継続審査を受けることになる。観光客数や売上げ、人材育成等が基準に満たない場合、認定取消しの可能性があるが、そうならないよう近畿日本ツーリスト(株)やクラブツーリズム(株)との包括連携協定や、文化庁や観光庁等の国庫補助金を活用して事業を行うなど成果を上げるべく準備している。市民の皆さまにも事業を盛り上げていただけるよう周知活動に努めていく。



牛久シャトー



市独自で保育士の賃金の一律5千円増額を

山本 伸子 議員



(答弁) 増額による市の負担は1,300万円、効果があるかの見極めが必要

質問 保育士の賃金を上げ、市内の保育園で働いてもらえる取り組みが必要である。現在、正規職員に対して1万5千円の補助金を交付しているが、つくば市は3万円である。せめて5千円増額することで、市の負担はどれほどになるのか。

質問 広報紙は市からのお知らせやイベントを伝えるもので、市政情報誌は政策を中心にまちづくりの将来像を示すもの。様々な課題を市民と議論し進めるためには、情報を共有するための市政情報誌こそ必要だが。



市政情報誌

質問 職員の喫煙者の把握は。また産業医と連携した禁煙指導は行っているのか。

職員の健康管理としての 禁煙指導は

質問 保育士の賃金を上げ、市内の保育園で働いてもらえる取り組みが必要である。現在、正規職員に対して1万5千円の補助金を交付しているが、つくば市は3万円である。せめて5千円増額することで、市の負担はどれほどになるのか。



通園・通学バスの置き去り防止に万全の対策を

鈴木 勝利 議員



(答弁) 具体的な取り組みを徹底して未然に防いでいる

(掲載以外の質問事項) ○市有地の管理



質問 不登校は何が問題だと考えるか。

質問 家庭への支援は。

質問 「きぼうの広場」での相談、訪問型家庭教育支援員の派遣、学校でのスクールカウンセラーとの面談がある。

質問 「きぼうの広場」や民間のフリースクール、タブレットを利用したケースもある。

質問 不登校に対する学びの保障は。

質問 「きぼうの広場」での支援や、学校に通常の教室とは異なる「居場所」を作り、教室に行きづらくても安心して過ごせる空間を整えている。

質問 「きぼうの広場」や民間のフリースクール、タブレットを利用したケースもある。

質問 家庭への支援は。

質問 「きぼうの広場」での相談、訪問型家庭教育支援員の派遣、学校でのスクールカウンセラーとの面談がある。

質問 「きぼうの広場」や民間のフリースクール、タブレットを利用したケースもある。

質問 不登校に対する学びの保障は。

質問 「きぼうの広場」での支援や、学校に通常の教室とは異なる「居場所」を作り、教室に行きづらくても安心して過ごせる空間を整えている。

質問 「きぼうの広場」や民間のフリースクール、タブレットを利用したケースもある。

市政に対する一般質問

QRコードを読み取って一般質問の動画をご覧ください。



GIGAスクール構想に基づく一人一台パソコン配布の現状は

池辺 己実夫 議員



(答弁) 児童生徒自身が自由な発想でタブレットを文房具のように使いこなすことが目標

質問 小学生の低学年と中学生ではパソコンの使われ方が違うと思うが、タブレットパソコンの学校現場での使用状況については。

答弁 (教育委員会次長) 一人一台端末を導入してから約2年が経過しており、各学校ではタブレットパソコンを活用した授業が日常的に行われている。調べ学習のためにインターネットを活用したり、インターネット上の教育コンテンツを活用したりしている。また、一つの発表資料をまとめる際に、複数のタブレット端末から同時に書き込む機能も活用している。

今後は、児童生徒自身が自由な発想でタブレットを文房具のように使いこなし、さらにレベルの高い「協働的な学びの授業」を実現していきたいと考えている。

小学生のランドセル問題

質問 重いランドセルを長時間背負って通学することで体の不調を訴えるなど、小学一年生にとって教科書やノートで重すぎるランドセル問題をどのように捉えているか。

答弁 (教育部長) 近年の学習指導要領の改訂などに伴い、小学校において令和2年度の教科書総ページ数は17年前(平成17年度)と比べると17.5%増量しているとされている。これまでも実態の把握と荷物の軽減について学校に要請し、その見直しや改善について学校に指導してきた。

今後も必要なもの以外は持ち帰らないようにするなど、各学校に見直しを図ってもらうことで荷物の軽減に努めていく。



ひたち野リフレビルへ市の窓口開設の経過は

諸橋 太一郎 議員



(答弁) 令和3年9月に会議を開催し、その際に窓口開設の提案が上がった

質問 市の考える重要施策とは。

答弁 (経営企画部次長) 総合計画の基本計画に位置付ける取り組みのうち、重点的に取り組む事項を指す。明確な定義づけに限らず、事業として重要なものを整理していく。

質問 施策決定の経緯と経過はどうか。

答弁 重要であるものについては庁議訓令により、庁議を経ることと規定されている。重要施策は予算の概要資料などにおいても特筆する形で整理をしていく。

質問 リフレビルへの窓口開設と教育委員会移転決定経緯と審議過程は。

答弁 (総務部長) 令和3年9月に第一回会議を開催し活用方針について協議し、窓口開設の提案が上がった。

10月にはテナント誘致の斡旋や募集条件、窓口開設や教育委員会移転についても協議した。

11月にも窓口開設を協議した。これらの過程を経て、予算計上し、ひたち野リフレ市民プラザ開設プロジェクトを立ち上げ、これまでに9回にわたる検討会議を経て令和5年2月の開設を目指しているところである。

質問 議会の提出したエスカード牛久ビルの活用に関する中間報告の感想は。

答弁 マチナカ市役所については、行政サービス向上の観点からひたち野リフレビル2階に住民異動機能を整備した。住民異動機能を整備した。住民異動機能を整備した。



ひたち野リフレビル

※住民異動：転入・転出・転居等で住所を変更する手続き



通学路等やゾーン30の対策強化は

加川 裕美 議員



(答弁) 令和3年度から4年度で約29カ所を施工、5年度はゾーン30も含め検討

質問 市内道路の危険箇所は令和3年度、4年度の整備概況は。

答弁 (建設部長) 令和3年に発生した千葉県八街市の重大事故を受け、危険箇所の再点検と洗い出しを実施し、狭さく・防護柵・車止め・路肩の確保や路面カラー化の施工を計29カ所で行っている。

質問 令和5年度以降に予定している箇所は。

答弁 一厚踏切から西側の区間において、センターラインを消して路肩を確保する対策を予定している。さらに牛久警察署と協議を進めている箇所もある。またひたち野東5丁目から北側に伸びる、一方通行の市道の交差点をすべてカラー化する予定である。加えてひたち野東と小坂団地内の速度制限区域ゾーン30も、調査を実施し、速度抑制対策を検討したい。今後通学路点検の結果や行政区等の要望も含め、学校・警察署・庁内関係課と密に連携を図り、安全確保に努めていく。



下根中学校通学路の狭さく対策

市民活動の現状と展望

質問 令和4年度の新たな施策等は。

答弁 (市民部次長) 「牛久市がなばる行政区活性化補助金」があり、41行政区が利用した。

質問 5年度以降の姉妹都市国際交流事業は。

答弁 オーストラリア・オレンジ市から高校生が当市を訪問、またカナダ・ホワイトホース市との交互派遣交流を再開する予定である。

### 市政に対する一般質問

QRコードを読み取って一般質問の動画をご覧ください。



## 3組合統合は牛久市には負担増。なぜ推進？

須藤 京子 議員



(答弁) 市町村長を構成員とする協議会で統合を進めるべきと判断された

**質問** 当初の説明では組織体制・共通経費の見直しで各市町村の負担金も削減されるとしていたが、7月には計画通りとならない状況が判明した。市は今後大幅な負担増となる。それでも統合すべきと判断したのはなぜか。

**答弁** (経営企画部長) 統合・複合化後の負担金は、令和5・6年度は経費の見直しが行われ、地域手当も現行のままで、市は過大に請求されず減額となった。統合・複合化は市町村長で構成する協議会で議論を重ねられ進めるべきと判断されたと認識している。

**質問** 答弁は3組合統合による説明であり、負担増となる市の実態とは違う。また新組合の退職者不補充による人員不足は、市町村の職員派遣で補い、その人件費は市町村が負担するということ。一般会計で人件費を負担した上にさらに上乗せで、二重負担ではないか。

**答弁** (総務部次長) 今後の統合に向けた具体的な議論の中で適切に対応していきたい。

**質問** 牛久市は今回の統合後に、ごみ処理広域化と斎場事務の複合化が進められる。しかし、ごみ処理広域化はこれまでの経緯もあり、地元の理解、協議が不可欠だ。これらに全く触れられていない中でこの統合は無謀だ。市はどう進めていくのか。

**答弁** (経営企画部長) 統合していく場合、経緯を踏まえた体制保持、雇用、分担金の公平性など様々な課題を解決する必要がある。

**質問** 9価HPVワクチンの定期接種化に向けての周知方法は、対象となる方への周知方法は、

**答弁** (保健福祉部次長) 新たに対象になる方への個別案内通知や未接種者に対する接種推奨の個別通知に情報を加えるとともに、HP、広報うしく等により周知していく。接種の有無に加え、ワクチンが3種類となり選択肢は広がるが、その反面、不安や疑問も増える。市民が納得し、自ら選択できる様々なツールを活用した情報提供と相談体制を整えていく。また、9価HPVワクチン導入にあたっての予算を令和5年度当初予算に要求している。

(掲載以外の質問事項)  
○福祉部門の窓口対応の改善  
○生活環境の保全に関する条例の制定



## 不登校調査結果からの今後の対応は

藤田 尚美 議員



(答弁) 多様な学びの居場所づくり等が必要と分かり、新たな支援を考える

**質問** 不登校の現状は。

**答弁** (教育長) 小学校61名、中学校115名、合計176名である。

**質問** アンケート調査対象と結果は。

**答弁** 現在ほとんど登校することができていない子ども、欠席日数は30日以下だが別室登校や放課後登校をしている子ども、きぼうの広場や学校外の施設を利用してしている子どものいる家庭を対象に実施。学校を通して128家庭に依頼文書を配布し、無記名でウェブ回答。回答数は51家庭、回答率は39.8%。

**質問** きぼうの広場の分室設置の考えは。

**答弁** 広場ではアウトリーチ型の支援として訪問をしている。新たな居場所の設置は予算面が厳しく困難だが、地域や民間の力と連携して取り組んでいきたい。

9価HPVワクチンの定期接種化に向けて

**質問** 定期接種化に伴う対応、対象となる方への周知方法は、

**答弁** (保健福祉部次長) 新たに対象になる方への個別案内通知や未接種者に対する接種推奨の個別通知に情報を加えるとともに、HP、広報うしく等により周知していく。接種の有無に加え、ワクチンが3種類となり選択肢は広がるが、その反面、不安や疑問も増える。市民が納得し、自ら選択できる様々なツールを活用した情報提供と相談体制を整えていく。また、9価HPVワクチン導入にあたっての予算を令和5年度当初予算に要求している。



## 行政サービスを継承していくための人材育成は？

甲斐 徳之助 議員



(答弁) 各指導の職員をつけ、業務の継承と個人の能力の向上を図る

**質問** 本市の人材育成基本方針には「市民との共同意識を持つ人材」「先例にとらわれない想像力のある人材」「市民の信頼にこたえられる人材」の育成とある。どう考えているか。

**答弁** (総務部次長) 階層別に求められる役割として任用・能力開発・評価の3つのシナテムを活用。体制などの実情に合わせ改定していく。

**質問** 本市ではどのような条件で人材の採用を行っているのか。採用条件を確認する。

**答弁** 30代の中堅職員が少なく、年齢構成に偏りがある。是正を優先とし、長期的・継続的な採用計画にて採用試験を実施。知識ばかり問わず、人物評価が重要と考える。

**質問** 採用後の人材育成においてはどのようにしているのか。

**答弁** 新任職員研修の実施や職場内での実践的な能力開発。昇任による階層別研修やスキルアップのための業務研修の機会確保など。

**質問** どのような人材を登用していくのか。

**答弁** 資格取得状況や業務経験を踏まえ、総合的に判断し登用していく。

**質問** 人材育成において執行部の責任は大きい。制度や運用のノウハウを継承していかなければ次世代への継続性は担保できない。組織としてどのように行政サービスを継承していくのか。

**答弁** 適所に配置し、教育・指導職員をつけて業務の継承及び個人の能力向上を図る。

行政サービスの継承と人材育成

### 市政に対する一般質問

QRコードを読み取って一般質問の動画をご覧ください。



## マイナンバーカード紛失や情報漏洩の安全は

黒木 のぶ子 議員



(答弁) 個人セキュリティは国や市が万全を期し管理していく

**質問** 健康保険証がマイナンバーカードに導入されている。カードを紛失した場合、保険証は緊急に使用したいこともある。再発行までの手続き、連絡先と日数、手数料は。

**答弁** (市民部長) 紛失時は本人が、国が設置する365日24時間体制の「マイナンバー総合フリーダイヤル」へ連絡し一時利用停止をし、再交付は市の総合窓口課で「紛失発生届」と再交付申請をする。再交付までは現在2カ月を要し、手数料は千円となっている。

**質問** 悪用されないためのカードの安全性は。

**答弁** 悪用不可能なICカードセキュリティの国際基準を取得、また偽造が困難で情報が盗まれないよう自動的に情報が消去される。

**質問** デジタル庁は「本システムの利用及び利用できないことによりシステム利用者または他の第三者が被った損害について一切の責任を負わないものとする」と利用条項に定めている。牛久市の個人データの情報管理とセキュリティの責任の所在と保証は。

**答弁** 万一個人情報の漏洩等が発生した場合、ガイドラインに従い被害拡大防止や再発防止策の検討と本人への事態発生のお知らせが義務付けられている。市は「情報セキュリティポリシー」を定め、最高責任者は副市長で、統括責任者は情報政策担当の市民部長となる。



1件、医科診療所は63件中18件、歯科診療所43件中10件。

**質問** 市内でマイナ保険証で受診できる数は。

**答弁** (保健福祉部次長) 総合病院は2件中1件、



## 財政状況を踏まえ、公共施設の規模適正化を

伊藤 裕一 議員



(答弁) 個別施設の再編計画を立てて対応している

**質問** 公共施設の配置や規模適正化の考えは。

**答弁** (経営企画部次長) 牛久市公共施設等総合管理計画を策定、公共サービスの水準を確保しながら、配置規模の適正化を図ることとしている。市営住宅の統廃合、おくの義務教育学校の一体型校舎への移行、向原保育園の廃止などの計画を立てた。

**質問** 施設貸出、ネーミングライツ等の収入を得る取り組みについての考えは。



長寿命化が実施された牛久クリーンセンター

### 市道23号線・国道6号バイパス

**質問** 令和4年3月の市道23号線全線開通、国道6号バイパス遠山町〜城中町間開通後の交通状況は。

**答弁** (建設部次長) 交通量調査の結果として、国道6号上下線における交通量は、約15% (約1000台) 減少、市道23号線の上下線における交通量は、約60% (約2000台) 増加した。

**質問** 交通安全施設や周辺道路の整備状況は。

**答弁** 車止めや防護柵を整備、スーパーマーケット付近の交差点で右折信号の供用を開始した。田宮西近隣公園東側市道の道路拡幅事業を進めており、令和4年度は用地取得、5年度以降に工事予定である。



## 振替休日は法令通りの運用を

北島 登 議員



(答弁) 総合的に考慮し改善に努める

**質問** 日常的に時間外勤務が常態化している。その要因についての認識を問う。

**答弁** (総務部長) 窓口対応となる部署で対応が終わった後にその事務処理をやらなくてはいけないため、業務量が多い傾向にある。

**質問** いつから代休・振替休日の期間の延長が行われるようになったのか。

**答弁** 運用上で指定日の変更を行い、確実な休暇取得が図れるよう努めている。

**質問** 振替休日が最大の日数積み上がっている人は何日ぐらいあるのか。

**答弁** 振替・代休等の消化の日数の実態は把握していない。

**質問** 業務の効率化とか、うまく人員配置していくようにすれば解決できるのでは。

**答弁** 業務の質と量、職員の職務への適正性などを総合的に考慮したうえで、人員とその数を決定すべきものと考ええる。

### 「ヤングケアラー」への独自支援を

**質問** 群馬県の高崎市ではヤングケアラー対象のヘルパー派遣事業をこの9月から開始したそうだが、牛久市でもこのような施策を取れないか。

**答弁** (保健福祉部次長) ヤングケアラーに対する支援は牛久市でも取り組むべきと考えられる。先進地の状況を調査研究しながら今後のヤングケアラーに対する支援を検討していきたい。



市政に対する一般質問

QRコードを読み取って一般質問の動画をご覧ください。



地方創生臨時交付金の活用で暮らしの支援を

遠藤 憲子 議員



(答弁) 約9,400万円を民間の保育園や福祉施設等へ交付

質問 国は、予備費により地方創生臨時交付金4000億円増額を閣議決定し、4月の物価高騰対応分1兆円のうち、留保分2000億円と合わせ6000億円を創設「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金(重点交付金)」を自治体に通知した市の交付金総額と充当の主な事業は。

答弁 (経営企画部次長) 市には約1億6900万円配分され、約9400万円を活用。主な事業は民間の保育園、介護、障害福祉施設などへの補助、ハートフルクーポンのプレミアム分、学校給食の材料費高騰分の公費負担、事業者支援金の交付を実施した。

質問 住民・事業者への支援の基準は。

答弁 市内の各課に事業の提案を求め、市の実情に合った活用の検討、配分額、市内事業所数、世帯数などから精査を行い実施した。

質問 子育て家庭の応援として給食費無償化を限定的にも取り組めないか。日立市は来年1月から3月まで給食費の無償化に取り組むことを公表。物価高騰の直撃を受けている子育て家庭への大きな支援となる。考えは。

答弁 (教育委員会次長) 学校給食法では、学校給食費の賄材料は保護者負担となっている。給食費の軽減は自治体が判断できるとの国会答弁もある。今後の交付金の見込みはどうか。

答弁 国の動向を注視していく。



学校教育費と就学援助の差が大きい。拡充は?

利根川 英雄 議員



(答弁) 現時点で特に問題があるとは考えていない

質問 就学援助制度は、憲法26条で教育の権利、学校教育法や子どもの貧困対策の推進に関する法律等で、経済的な理由で就学困難と認められるときは必要な援助を与えなければならぬ、とある。就学援助の目的について市の考え方は。

答弁 (教育委員会次長) 義務教育では、法律に基づき授業料と教科書は無償。学校生活において授業で使用するノート、筆記用具、制服、上履き、体操服、リコーダー、絵の具セット等の教材、修学旅行費、校外学習費、給食費等は保護者負担となっている。経済的困難により就学困難な家庭には必要な就学援助を行っている。

質問 市の就学援助のお知らせでは、入学準備費は入学式に間に合わないが。

答弁 10月頃お知らせを出し必要な家庭には事前に準備金を出している。

質問 就学援助の申請は学校提出となっている。その必要性は。

答弁 就学援助では、支給された費用によって、児童生徒の服装や出席状況を把握し、校長からの意見を確認している。

質問 申請の提出先を学校のみとせず学校または教育委員会とすべきでは。

答弁 学校に提出することを基本としたい。

質問 文科省の学習費調査による学校教育費と市の就学援助では差が大きい。充分と考えるか。

答弁 現時点で特に問題があるとは考えていない。



(掲載以外の質問事項) ○牛久市事業者支援一時金支給制度

令和4年第3回臨時会より

スズメバチの駆除に係わる予算の復活を求める決議

【決議の内容】

本市においては、市民に危害を及ぼすおそれのあるスズメバチの駆除について、平成17年度から令和3年度までの17年間にわたって、毎年平均で200万円の委託料が予算計上され、年間平均およそ150件の駆除を実施してきた。

しかしながら、当該委託料は令和4年度から突然廃止されたが、その理由及び背景は明確なものではなく、第3回定例会において多くの議員から当該委託料に係わる意見が出された。

スズメバチの駆除は、市民が安心安全な日常生活を営む上で必要不可欠な事業であり、その意味で、害虫駆除対策としてこれまで税金が投入されてきたものである。近隣のつくば市・土浦市・稲敷市・阿見町においては、依然として、スズメバチの駆除に係わる予算が計上されている。

そこで、牛久市議会は牛久市に対して市民の日常生活の安心安全を確保する観点から、次年度以降におけるスズメバチの駆除に係わる予算の復活を強く求めるものである。



令和4年度一般会計補正予算

○非課税世帯に対する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の計上 (3億5,000万円)

事業概要：住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり5万円を支給するもの

○物価高騰対策補助金の計上 (9,378万6,000円)

事業概要：原油価格・物価高騰対策として、介護施設、障害福祉施設、民間保育園・民間幼稚園・民間児童クラブ、医療機関、認定農業者、運送事業者等に対し補助金を支給するもの

# 常任委員会審査報告

## 総務企画常任委員会報告

### ひたち野リフレプラザ 令和5年2月1日開設に向け準備進む

(問) 本庁舎から移動する職員は同名か。現在でもマイナンバー申請などで窓口は混雑しており、想定外の対応が発生した場合は。

(答) 常勤職員10人が本庁舎と同等の転入転出届けや各種証明書発行などの窓口業務にあたる。混雑が予想される時は、市民部の職員等の応援で対応していく。

(問) 2階フリースペース、有料の3階スカイスペースの利用時間が21時までとなっているが、利用料金等の管理体制は。

(答) 17時15分までは職員が担当、夜間は管理人1名が常駐し安全確認をする。スカイスペースのブースは7カ所で電源、照明、フリーWiFiを整備し、使用料金はリフレ窓口で対応するが、券売機導入を予定している。



ひたち野リフレビル

### ひたち野うつくし郵便局での 証明書等発行事務を終了

(問) リフレプラザが令和5年2月1日開設されるが、郵便局への委託終了を3月31日までに行っている理由は。

(答) 契約期間を年度末としていること、市職員の異動の時期でもあり、万が一の担保として3月末までとしている。

### 稲敷・龍ヶ崎地方3組合の 統合に伴う規約の変更等



(問) 将来的にごみ処理も広域化が検討されているようだが、現在稼働している牛久クリーンセンターは、地元奥原地区との協定がある。地域住民と話し合いはされているのか。

(答) 今後、ごみ処理の広域化の流れがあるという話は、廃棄物対策課から話をしている。市として地元との協定は順守しなければならず、牛久クリーンセンターを地元の同意なしに広域化することはあり得ないと考えている。

(意見) 当初統合をすれば経費が抑えられるとのことであったが、精査したところ市の負担が今後10年で増え、議員定数も現在の半数以下になると、議会としての意見や考え方が反映されているとは言えない。

議会として調査研究に努める必要があり、継続審査とすべきである。

## 稲敷・龍ヶ崎地方3組合の統合とは



○龍ヶ崎地方衛生組合（事務内容はし尿処理、構成市町村は牛久市を含む4市3町1村）

○稲敷地方広域市町村圏事務組合（事務内容は消防・水防、構成市町村は牛久市を含む3市3町1村）

○龍ヶ崎地方塵芥処理組合（事務内容はごみ処理、構成市町村は1市2町）

右記の3組合を統合して人口減少時代に対応し安定した公共サービスを提供していくことを目的とし、新組合を令和5年4月に設置する計画である。その後、ごみ処理や斎場の広域化、複合化も進めることとなっている。

新組合移行後の牛久市の分担金は令和5年度は9億7600万円だが、令和14年度は10億3800万円と試算された。



## 教育文化常任委員会報告

### 刈谷3丁目より市道23号線への 坂道設置に関する請願書

刈谷から市道23号線へ、児童が通学路として利用可能な坂道を、早急に設置することを求める決議を行うように、牛久市議会へ請願するものである。

(賛成) 子どもの通学路の安全性の確保と、地域の高齢者の方々には、階段がかなり急なので、その利便性を考えると、できれば早急に実施してほしい。

決議案を直ちに提出し可決  
賛成全員により請願は採択され、直ちに決議案「児童の通学路の安心・安全を求める決議について」を提出し、賛成全員により可決されました。

児童の通学路の安心・安全のために



刈谷から市道23号線への階段

# 常任委員会審査報告

## 保健福祉常任委員会報告

市公立保育園再編計画に基づき、向原保育園を閉園

(問) 民間・公立保育園の定員、公立の役割は。  
(答) 民間の利用定員は1659人、公立は430人だが、向原保育園閉園に伴い令和5年からは370人となる。公立保育園は、需要が減る中で民間保育園の定員割れを防ぎ、また重度障害児の受け入れを役割と考えている。

(問) 待機児童数、閉園に伴う加配、正規職員や会計年度職員の今後は。  
(答) 最新の待機児童数は国基準でゼロ。加配は保育士が他の3園に異動するので対応できる。正規職員は公立保育園に異動、会計年度職員は令和4年度更新し、希望者は任用していく。

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

(意見) 高齢者は重症化も懸念され補助は必要と考える。

知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書

(意見) 障がいの定義、手帳の統一は重要課題である。

閉会中継続調査「保育園の現状について」

各地の事件事故の報道を受け、市内状況を調査する。

## 環境建設常任委員会報告

物価高騰に対し賃上げの実現を求める意見書

働く人が豊かになることが、経済も強くなるとして、政府に賃上げを実現するよう求める意見書であり、非正規労働者の時給を1500円以上に引き上げることや男女の賃金格差を是正すること、大企業の内部留保を中小企業に還元することなどが内容である。

(意見) 長引く不景気に賃上げが必要であるが、国の施策も十分でないことから意見書を提出すべきである。

中小企業や農漁業者などに対し支援を求める意見書

長引くコロナ禍や物価高騰、過剰債務などによる中小企業や小規模事業者、農漁業者の廃業、倒産危機を打開する支援策を政府に求める意見書であり、地域経済を立て直すため令和5年10月から導入予定のインボイス制度の中止、事業者への給付金創設や農漁業者への直接補填の仕組みなどを求めるものである。

(意見) インボイス制度に関しては中小企業には負担と混乱をもたらしていることもあり、コロナ禍や長引く不況のなか国に対策を求めるべき。

## 予算常任委員会報告

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額、LED照明等の設置などについて審議された。

ふるさと牛久応援寄附金  
(1億5000万円増額)

(問) 寄附金額が増えた要因と今後の寄附金額の見込みは。

(答) ポータルサイトの拡充や返礼品のラインナップを強化するとともに、サイト上に牛久市の返礼品が効果的に表示されるための取り組みなどを行った結果と考える。今後は、サイトの拡充をはじめ、事業者と協力した返礼品の開発、茨城県指定の共通返礼品とのコラボレーションなども考え、更なる寄附金の増加を目指していきたい。

教育施設等における電気料金高騰に伴う増額計上

電気料金の高騰により、小学校・中学校・図書館・牛久運動公園など公共施設の電気料金について増額計上された。

(問) 電気料金の高騰に伴い、各施設の電気料金が増加しているが、公共施設、学校等のLED化状況は。

(答) 学校関係では体育館に水銀灯や蛍光灯がまだ多く残っている。LED化は、年次計画を立てて行う。生涯学習センターはまだ実施されていないが、中央図書館、牛久運動公園のメインアリーナ、サブアリーナ、武道館はLED化済である。屋外野球場はされていない。

障害児給付費を支給する  
(5300万40000円)

(問) 対前年度比での実人数、施設の増加数、一人当たりの平均通所日数等は。

(答) 令和3年度上半期と令和4年度上半期の実績を比較して、児童発達支援件数は259件の増加。また、令和3年度以降の新規施設開設数は、児童発達支援が6件、放課後等デイサービスが3件。令和4年度の一人当たりの平均通所日数は、児童発達支援が1カ月あたり12.2日、放課後等デイサービスは20.8日、保育所等訪問支援は2.248回の利用。



牛久市御礼品の一例

牛久市の御礼品の一例

交通安全対策費 (113万3000円)

令和4年度はコロナ禍で休止していた交通安全キャンペーンなどが再開されたこと、幼稚園児や小学生を対象とした交通安全教育事業のほか高齢者を対象とした防犯教室を休日に行うようになったため、交通安全教化員の時間外勤務が増加。

# 議案の審議結果

凡例： ○…賛成、×…反対

杉森弘之議長（市民クラブ）は採決には加わっておりません

## 賛成全員で可決または認定等された議案等

議案番号	議案等名
【第3回臨時会】	
46号	令和4年度牛久市一般会計補正予算（第6号）
決議案第7号	スズメバチの駆除に係わる予算の復活を求める決議について
【第4回定例会】	
47号	牛久市役所出張所設置条例について
48号	牛久市ひたち野リフレプラザの設置及び管理に関する条例について
49号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
50号	牛久市部等設置条例の一部を改正する条例について
52号	牛久市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
53号	牛久市財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について
55号	牛久市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
56号	令和4年度牛久市一般会計補正予算（第7号）
57号	令和4年度牛久市一般会計補正予算（第8号）
58号	令和4年度牛久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
59号	令和4年度牛久市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
60号	令和4年度牛久市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
61号	令和4年度牛久市下水道事業会計補正予算（第2号）
62号	牛久市の特定の事務を取り行わせる郵便局の指定の取消しについて
63号	龍ヶ崎地方衛生組合の解散について【継続審査の可否】

64号	龍ヶ崎地方衛生組合の解散に伴う財産処分について【継続審査の可否】
65号	稲敷地方広域市町村圏事務組合規約の変更について【継続審査の可否】
意見書案第16号	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書の提出について
決議案第8号	児童の通学路の安心・安全を求める決議について
請願第4号	刈谷3丁目より市道23号線への坂道設置に関する請願書

## 賛否が分かれた議案等

議案番号	議案等名	日本共産党	新 政 会	市民クラブ	公 明 党	無会派(石原)	無会派(柳井)	無会派(守屋)	無会派(山本)	無会派(伊藤)	無会派(甲斐)	無会派(加川)	議決結果
【第4回定例会】													
51号	牛久市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
54号	牛久市立保育園設置条例の一部を改正する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書案第13号	賃上げ実現のため、緊急で効果的な対策を求める意見書の提出について	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	否決
意見書案第14号	中小企業・小規模事業者、農漁業者の廃業、倒産危機を打開する支援策を求める意見書の提出について	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	否決
意見書案第15号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

## 意見書・決議・請願

### 第3回臨時会

**決議案第7号**  
スズメバチの駆除に係わる予算の復活を求める決議

市民に危害を及ぼすおそれのあるスズメバチの駆除について、令和3年度までは委託料が予算計上されていたが、今年度突然廃止になった。市民の日常生活の安心・安全を確保するため、次年度以降の駆除の委託料について予算の復活を求めるもの。

賛成全員で可決

### 第4回定例会

#### 意見書案第13号

賃上げ実現のため、緊急で効果的な対策を求める意見書の提出について

ケア労働者や国・自治体の非正規労働者の賃上げ、男女の賃金格差の是正、パート労働法・労働者派遣法の改正など、賃上げを実現するための対策に取り組みよう求めるもの。

賛成少数で否決

#### 決議案第8号

児童の通学路の安心・安全を求める決議

牛久小学校へ通学する児童の安心・安全の確保のため、市道23号線沿いの擁壁にスロープを早急に設置するよう強く求めるもの。

賛成全員で可決

#### 意見書案第14号

中小企業・小規模事業者、農漁業者の廃業、倒産危機を打開する支援策を求める意見書の提出について

インボイス制度の中止やコロナ対策融資を別枠債務にすること、その後の返済計画の支援、農漁業者への資材・燃料・燃料高騰に対する支援の強化、農産物の価格保障などによる自給率の向上など、地域経済を立て直しを図るための対策に取り組むよう求めるもの。

賛成少数で否決

#### 請願第2号

刈谷3丁目より市道23号線への坂道設置に関する請願書

刈谷の児童が安心・安全に登下校できるように、通学路として利用可能な市道23号線への坂道を早急に設置することを求める決議をあげてもらおうよう、牛久市議会議長へ請願するもの。

賛成全員で可決

#### 意見書案第15号

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹のワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求めるもの。

賛成多数で可決

#### 意見書案第16号

知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書

国際的な知的障がいの定義や、自治体の負担等も踏まえた判定方法や基準の在り方の検討を踏まえ、知的障がい行政・手帳制度を、国の法律による全国共通の施策として展開することを強く求めるもの。

賛成全員で可決

## 議員辞職・委員長異動

11月7日付、長田麻美議員が辞職いたしました。

よって、牛久市議会議員は19名（3名欠員）となります。

また、長田議員の辞職に伴い欠員となっていた教育文化常任委員会委員長は、守屋常雄議員が選任されました。

同じく、龍ヶ崎地方衛生組合議会議員は、山本伸子議員が選任されました。

## 会派構成 (12月22日現在)

会派名	議員名			
日本共産党	利根川 英雄	遠藤 憲子	北島 登	
新 政 会	諸橋 太郎	市川 圭一	池辺 己実夫	
市民クラブ	黒木 のぶ子	須藤 京子	杉森 弘之	
公 明 党	秋山 泉	藤田 尚美	鈴木 勝利	
無 会 派	石原 幸雄	柳井 哲也	守屋 常雄	山本 伸子
	伊藤 裕一	甲斐 徳之助	加川 裕美	

※牛久市議会では会派制を採用しているため、会派名で記載しています。  
※10月1日付けで加川裕美議員は無会派となりました。

## 次回定例会のお知らせ

次回の定例議会は、左記の予定で開催いたします。開会は午前10時です。  
なお、日程は変更になる場合があります。

※本会議は、市役所2階ホールのTVモニターでも生中継がご覧いただけます。また、インターネットにより本会議の録画も放送しています。

## 編集後記

令和5年。初めての牛久市議会だより。年末から制作に入り、こうして目に触れる今は、梅のつぼみも、ほころび始めています。

今年の干支、うさぎは古来より日本では、月の使いとして知られてきました。大きく前に跳ねる姿から、「飛躍」や「向上」の象徴とも言われます。またその長い耳にちなみで、たくさんの諺、格言も生まれています。

こんな言葉を見つけた。「小さなうさぎは大きな耳を持っている。」うさぎは、左右の耳を別々の向きに変えることで、様々な音を捉えています。

今号に掲載の定例会で、福祉、行政サービス、地域安全などの課題に活発な議論が展開されました。また議会だよりの編集を担う広報常任委員会では、より読みやすく、手に取っていただけるように、A4サイズの冊子へリニューアルを予定しています。私たちも、うさぎに学び、常にアンテナを張り、いち早く実践していきたいと考えます。皆さまにとっても飛躍の一年となりますように。

### 広報常任委員会

委員長	伊藤 裕一
副委員長	須藤 京子
委員	守屋 常雄
	山本 伸子
	鈴木 勝利
	加川 裕美